

令和4年4月6日

報道機関 各位

## 富山大学人間発達科学部附属小学校における いじめの重大事態について

日頃より、本学の教育活動に関して、ご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

4月6日に北日本放送のニュースエブリィで取り上げられました富山大学人間発達科学部附属小学校で発生したいじめによる不登校（いじめ防止対策推進法にいう重大事態）について、事実関係やこれまでの取り組みについて以下のとおり、お知らせいたします。

### ■ 事実関係

令和3年7月5日に外部委員により構成された国立大学法人富山大学いじめ問題調査委員会より調査報告書が取りまとめられました。

これを受けて富山大学として、外部有識者にも参画いただき附属小学校改革委員会を設置し、いじめの理解、いじめ防止等のスキル向上、組織的対応、学校組織の見直し、附属学校と大学の連携などを柱とした改善策を10月14日に取りまとめたところであります。

また、当時いじめを受けた児童及び保護者（以下「当該児童側」という。）に対して12月26日に富山大学長として当該児童が不登校となったことについて謝罪するとともに、当該児童の尊厳を回復するため心のケアや教育支援を行う支援チームの提案や調査委員会の提言を踏まえた附属小学校の改善策を説明し、また調査報告書の公表に向け、今後の予定について協議を開始したところであります。

### ■ 今後の予定及びお願い

富山大学としては、文部科学省が示している「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」に従って進めたいと考えております。

断片的な情報提供では事実関係が正確に伝わらず、児童や保護者の間で憶測や誤解が生じることも懸念されますので、公表までの間は本件について取材への対応は差し控させていただきます。

また、児童等への心理的な影響も懸念されますので、附属学校園関係者への取材についても控えていただきますよう、よろしくお願いいたします。

何卒ご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学総務部長 齊藤大輔 TEL : 076-445-6002(直通)